

つるのおんがえし

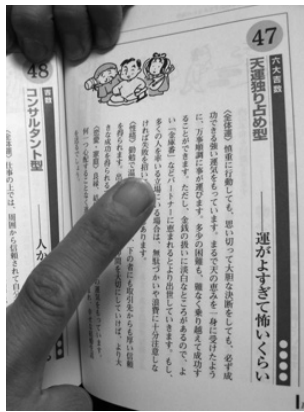


19号 平成21年6月発行

発行：感動・創庫
藤沢市長後1135-11-101
TEL:0466-46-3327
FAX:0466-65-3347
mail:info@kando-soko.com
http://kando-soko.com
集客チラシ.com
発行編集責任者：芦川永光

今回のつるのおんがえし、まずは大事なお知らせをしなくてはなりません。2008年2月末に生まれました「感動創庫」ですが、5月15日を持ってその役目を終わることになりました。1年少しというわずかな間でしたが、ありがとうございました…うう…涙
えー、ちょっとだけ驚かせてしまったところで、改めましてこんにちは！「感動・創庫」の芦川永光です。はい、すでに気づいて頂けたかもしれませんが、真ん中に「こ」が入り、感動・創庫に名前が変わりました。読み方は変わりません。これからも「かんどうそうこ」です。
そもそも、なぜ突然に「こ」を入れたのかと言いますと、最近勉強を

始めた「姓名判断」の影響なんです。イイ画数の会社と悪い画数の会社、どうせだったらイイ画数の方がいいに決まってる！という訳で、「感動創庫」を調べてみると…これがどうもキナ臭い…本には「苦難連続型」と記されていたんです。
うーん、昨年末は絶対調だったのに、1・2月は急に暇になった…これはもっ、もしかしてーっ！と第6感が嫌な予感を察知しまして、改名を決意したわけです。「かんど



うそうこ」の呼び名は変えずに、イイ画数はないかと次のページをめくると、ムムツ、すごい事書いてある！感動創庫は46画で「凶数」、しかし47画は「六大吉数」という大吉の上を行く数字が！かくして「天運独り占め型」の運気を味方にした！47画の感動・創庫が生まれたのです。
何か変わったのか、と言いますと…えー、何となく良い感じですよ(笑)。でも本当のところ、今まで積み重ねてきたものが少しずつ目が出始めた実感はあります。事実、5月は過去最高益出ましたし。名前を変えただけではすべてが変わるもんじゃありませんが、心構えを変えて、モチベーションを上げる

足柄大橋金太郎マラソン大会



には良いタイミングでした。もうすぐジメジメの梅雨の時期。雨で地が固まるかのごとく、夏に備えてばっちり力を蓄えて、がんばりましょうね♪
金太郎のふるさとを駆ける!!
マサカリかついだ金太郎お〜♪、赤いふんどし(エプロン?)に○金でおなじみなのは、そう、金太郎。その金太郎のふるさとである南足柄市に私、「足柄大橋金太郎マラソン大会」に出場してまいりました！
出場を決めたのは3月末ごろ。そこからタバコをやめ、食事制限をしながらの厳しいトレーニングがスタート。練習当初は、運動をまったくしていませんでした。なので、わずか2キロで悲鳴を上げ、息も絶え絶えに。練習するたびに筋肉痛になる脚。15キロにエントリーした自分の無謀さに、もー馬鹿馬鹿、俺！と自己反省もしました。



この15キロには「1時間45分以内」という時間制限があったので、ちよつとでも歩くと完走できません。せめて完走しなきゃと2ヶ月間、こまめに練習を続けました。

そして当日。天気はいにくの雨でしたが、気温はそれほど上がらず、マラソンにはまあそれなりの気候でした。結果は…、15キロを無事完走しました。そのタイムは1時間31分9秒。制限時間内に行けましたよ！

練習を始めた頃は、1キロを7分以上かけて走ってましたから、この結果は満足です。それに、一度も歩くことなく走りきれたことは、まだまだいけるぜ！と自信が持てたのでした。

約1時間半の間、走りっぱなしだったわけですが、いろんなもの



が見れました。雨で霧が掛かっていたので、足柄大橋から見る山々と川の流れは、走っている間でも笑顔が出てしまうほどキレイでした。それから、私と同じくらいのパースで仙人様みたいな人が、白髪と白くて長い髭を生やして劇走していました。後で結果表を見たらこの方、80歳代と判明し、度肝を抜かれました。健康って、年齢なんか関係ないんですね。

残りがあと数キロのところでは

風の影響で、汗をかいていた身体がいつべんに冷えて、脚が石のように硬直するのを実感しました。最後は吐きそうにもなるほど、とにかく苦しかった…ですが、雨中、傘をさして地元の人たちの温かい声援！。これ、走るとホント分かるんです。ありがたいなあって。こんなにチカラになるのかあって。とにかく楽しく走れた15キロでした！

達成感を味わった完走。その先に見えたのは、自信が生まれたことによる「次の目標」です。湘南国際マラソンでフルマラソンに挑戦しようと思ったのですが、参加者多数により募集を締め切っていました。とりあえず8月に富士山のふもとで行われるハーフマラソンに、今度は出てみようと思っております。今度は20キロです。今年の夏は燃えまっせ！



子供の頃の夢は、 学校の先生でした。

中学校の頃は担任の先生から「あなたは不良の気持ちが分かる先生になれる！」と、良いんだか悪いんだか分からない賞賛を受けるほど、周りにも伝えていた明確な夢でした。子供ながらに「大勢の人に何かを伝えられる、役に立てる人間になりたい」と漠然ですが、そんな願いを持っていましたね。

そんな夢はとっくの昔に忘れていたのですが、この業界に入ってから6年。32歳の今年、気づけば大勢の方々の前に立って一人、大きな声を出している自分がいます。

5月31日の日曜日。ちょうど開港150周年記念で盛り上がりつつある横浜市。そのイベントを間近に控えた、横浜スタジアムのある関内駅前にある中小企業センターへ、薬店の皆様が集まる勉強会の講師としてお招きを頂きました。ここでのお招きいただくのは3回目。私たち感動・創庫の広告宣伝の考え方、取り組みに大変なご理解を



いただきまして、これ以降も埼玉や東京にもお邪魔できるかも、というありがたいお話しを頂いています。今回は、6月の薬事法改正に向けた、広告宣伝のあり方という概略でお話しをしてきました。

こんにちは、
講師の芦川です(照れ笑)。

ここでは、広告をつくる普段の感動・創庫の芦川ではなく、広告の考え方をお伝えする芦川になります。当然、自分がパパッとやってしまえば出来てしまう事でも、基本的なことから一緒に考えながら、分かりやすくお伝えする努力をし



ます。結果として、お店に戻ってから、何か一つでも実践できるような知識・技術をお伝えするわけです。

普段のように、一対一でお話しするのと違って、ものすごい神経を使うので、毎回家で崩れ落ちるほどに疲労します。お金を頂いている以上、費用以上の何かをもって帰っていただきたいと思って一生懸命になります。が、簡単じゃありません。その日のコンディション、理解の差、意識の差、いろいろ不安要素があります。お伝



えすることって、チラシなどの広告のように、カタチにならない分、終わったあとは反省したり、不安になったり。帰り道で胃が痛くなったりします(意外と小心者?)。

今どきの少・中学校なんかに行くと、学級崩壊やらモンスターペアレンツやら、いろんな問題があるって聞きますけど、先生って本当大変なんだろうなあと、この状況になって気づかれます。

広告の楽しさを伝え、役に立つ人間に。

もし自分が学校の先生になれていたら…、たまに想像するんですが、いつも出す結論は、「PTAや教育委員会と大ゲンカをして、辞める」です。とにかく今の学校の先生は大変なはず。友達にも先生をやっている奴いますが、皆ががんばってますよね。

というわけで話がそれましたが、「広告を作るだけではない」感動・創庫の一面がここにあるわけです。世の中にはいろんな広告代理店さんがいらっしやいますが、私は以前から広告をただ作って、お客様に提供するだけの広告屋にはゼツタイなりたくない、という信念がありました。もしそれだけだと、広告に関してはゼーンぶ代理店に依存することになっちゃうから、なんです。

例えるならば、魚だけを提供する魚屋さんではなくて、魚の釣り方も一緒に教えられる魚屋さんになりたいと私は思っているんです。

一人でも多くの人に広告の楽しさを伝え、作る楽しさも同時に知ってもらうこと。「大勢の人に何かを伝えられる、役に立てる人間になりたい」私は、この場所で、この仕事でこれからも伝えていきます。

心に響く感動の格言

目の前を悲しく入ると見ついたら

何となく愛おしい。

そのためなら

死ぬまでここにいます。

あんなに愛おしい。

Words by 山崎さん

年配の方はご存じないかも。黒タイツの超個性派芸人、江頭2:50(にじごじゅっぷん)は、外国で警察沙汰にあったり、バイアグラをたくさん飲んで救急車で運ばれたり、何かとお騒がせなお笑い芸人。そんな彼は決して万人受けするよう人ではありませんが、テレビに出ると必ず記憶に残るほどのインパクトがあるんです。

この言葉にあるように、彼の「芸」に対する情熱があってこそ、あのインパクト、なのかもしれませんね。

編集後記

今回は「デザインって、スゴイなー」と改めて驚いています(さんざ広告作ってるのに)。前号までは自分で文章を考えて、自分でデザインをしてたんですが、このままじゃいかん!と思う出来事があったんです。

大学の先輩で稲村さんという方がありまして、先日10年ぶりに再会。その後、その方が出しているニューズレター「ジエーンニュース」(名前の由来分かります?)の文章構成をお手伝いしてらんです。んで、これがカッコいいし読みやすくて、スゴくいいレターなんですよ。それもそのはず、デザインもプロがやってるんです。井上さんというこれまた同じ大学の先輩がデザインしてるんです。

ウチのデザイナーがコレを見て、きつぱり言いました「つるのおんがえし、負けてるねえ」。うーん、負けらんねー!

という訳で、感動・創庫が誇るデザイナー、坂井氏を担ぎ出し、つるのおんがえし、大リニューアルなワケでございます。読みやすくなりましたよね?キレイですよ?

いやーデザインって、本当スゴいもんですね。では、また次号でお目にかかりましょう!(水野晴郎風)サイナラ、サイナラ、サイナラ(淀川長治風)